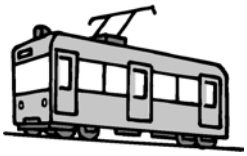
議案第 19 号 修正案　令和元年度加西市一般会計補正予算（第 7 号）に対する修正動議
議案第 19 号　　令和元年度加西市一般会計補正予算（第 7 号）について

否決（賛成 3、反対 11）
可決（賛成 11、反対 3）

原案に賛成・修正案に反対

・北条鉄道利用者から、行き違い工事での増便による利便性の向上を求められる。加西市を訪れる人をふやし活性化を図るためにも、交差事業に期待を持って賛成する。

・北条鉄道は公共交通の確保として重要である。安全性はこれまで確認しており、今回また別の視点から国の指導を受けて安全対策を図るための補正は極めて重要で、修正案に反対する。



原案に反対・修正案に賛成

・北条鉄道行き違い工事の 3,232 万 2,000 円の追加工事が疑問。設計内訳書の内容も不十分で、北条鉄道の経営や事業についても透明性の確保が当然の責務であり、国土交通省の指摘を受けた追加工事が必要か、人口増に効果があるか疑問に思い、大幅な増額補正は反対する。

・少子高齢化の波で利用者減少、社会交通事情の変化で北条鉄道の経営は厳しくなると予測するため、追加工事の必要性に疑問を持つ。消防団の活動服について、新基準での難燃性活動服購入の指示をしなかった行政の不作為により、非難燃性活動服を購入させられた多くの部がある。その無駄な支出となった活動服の購入代金を補償すべきとの立場から、修正案に賛成する。

議案第 24 号 修正案　令和 2 年度加西市一般会計予算に対する修正動議
議案第 24 号　　令和 2 年度加西市一般会計予算について

否決（賛成 3、反対 11）
可決（賛成 11、反対 3）

原案に賛成・修正案に反対

・こども狂言塾は、日本でも有数の狂言師の指導を直接受けることで感性を高め豊かな心を育むと同時に、加西市に息づく歴史や文化の継承にもつながり郷土愛を高める。日本を代表する能楽師による加西能を開催できることは夢のような話。開催を待ち望む市民の思いを大切にしたい。加西市の文化レベル向上にも重要な事業であり賛成する。よって、減額を求める修正案には反対する。

・鶉野飛行場跡を活用したイベントで来訪者がふえている。その観光拠点として地域活性化拠点施設の工事が開始され、市道整備や国道のバイパス化が図られて市や地域にとり大きなインパクトを与える活性化の起爆剤になる。平和の尊さを示し、みんなが語り合える場所になることを期待して賛成する。鶉野飛行場を全国に周知してもらうために頑張る時期で、事業費を減額する修正案には反対する。

・観光事業は即効性があるとは思わないが、ブランド品が定着していけば相乗的に効果が出てくる。費用対効果も勘案し、加西発展のため期待を込めて応援するため賛成する。

・原案に賛成するが、予算措置に当たりふるさと納税を財源化することは、流れが変わる時には影響が非常に大きいために最大限慎重に扱うべきである。

・国や県の財政措置がある事業は積極的に活用して事業を展開することは重要である。通学補助にも広く支援することは極めて大事なことで、修正案には反対する。

原案に反対・修正案に賛成

・播磨国風土記関連事業は否定しないが、参加料や受講料の見直しで市の負担を減らすべきだ。北条節句祭りや播州歌舞伎には風土記事業ほどの特段の支援はなく不公平であり、高額な税負担より自主的運営できる形に変えるべきだ。地域活性化拠点施設は運営費が年間 7,000 万円との試算は、市負担軽減のためにも入館料を検討すべきで、原案に修正を求める。

・空がつなぐまち・ひとづくり交流事業は市全体への波及効果がなく、市の課題解決のための交付金が未来への確実な投資となるか明確でない。関連の委託金も必要性が認められないので削減する。地域おこし協力隊事業も見直し、市内在住の若者に有益な事業に市税を投入すべき。新型コロナウイルスの影響は深刻で緊急事態。新年度予算は、景気対策や生活支援に重点化して、修正カットする分を市民生活安定に回すべき立場で修正案に賛同する。